

議会だより



飯岡漁港からの初日の出

市民の皆さまには、日ごろより市議会に対してご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。私たちは12月の定例会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄であり、その職責の重さを痛感するとともに、身の引き締まる思いでございます。

ご承知のとおり、本年は旭市・海上町・飯岡町・干潟町の合併により新生旭市が誕生してから3年を迎える節目の年でございます。

この間、議会としても合併後の新旭市のまちづくりのため、市民の安心安全、住民福祉の向上のために市当局と活発な議論を交わしてその役割を果たしてきたところでございます。

今後も旭市の均衡ある発展と、市民の皆さまが健やかで安心して住めるまちづくりのため、執行のチェック機関として、また開かれた市政の推進役として誠心誠意役割を果たして参りたいと思っておりますので、引き続き市民の皆さまのご支援とご協力をお願いいたします。



議長 明智 忠直



副議長 平野 浩

就任のごあいさつ

第4回定例会のあらまし

平成19年第4回定例会が、12月5日から12月20日までの16日間の会期で開かれました。

この定例会には、平成19年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、条例の新規制定や一部改正、工事請負契約の締結など13議案が市長より提出され、いずれも原案のとおり可決・同意されました。

12月10日には、一般質問が行われ、5人の議員が登壇し市政全般にわたる議論が展開されました。

最終日の20日には、委員会から2件の発議案が提出され、原案のとおり可決されました。その後、嶋田議長、林副議長の辞職により選挙が行われ、新議長に明智忠直議員(3期・西足洗)、副議長に平野浩議員(3期・後草)が選出され閉会いたしました。

おもな内容

- ★議案内容と審査結果…P2～3
- ★委員会の構成……………P8
- ★陳情の審査結果……………P3
- ★常任委員会の審査…………P9～10
- ★主な議案質疑……………P3～4
- ★行政視察報告……………P10～12
- ★第4回定例会の日程…………P4
- ★議会のうごき……………P12
- ★一般質問……………P4～8

第二中学校校舎改築工事契約 十億千五百三十五万円

議案の内容と審査結果

補正予算

◇議案第1号

平成19年度旭市一般会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出にそれぞれ5600万円を追加し、予算の総額を263億3100万円とするものです。

歳入の主な内容は、国庫支出金に49万3000円、県支出金に1354万9000円、財産収入に364万7000円、寄付金に320万4000円、繰入金に1798万円、繰越金に1712万7000円を追加するものです。

歳出については、議会費に61万2000円、総務費に2827万6000円、民生費に2027万円、商工費に152万1000円、土木費に1595万円、消防費に216万1000円、教育費に481万2000円を追加し、衛生費から526万3000円、労働費から112万4000円、農林水産業費から1

491万5000円を減額するものです。

◇議案第2号

平成19年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について (可決)

歳入歳出にそれぞれ1億1772万7000円を追加し、予算の総額を33億4564万7000円とするものです。

◇議案第3号

平成19年度旭市下水道事業特別会計補正予算の議決について (可決)

予算の総額に変更はありませんが、人事異動及び千葉県人事委員会勧告に基づく給与改定の影響額について、補正を行うものです。

条例の制定・一部改正

◇議案第4号

旭市地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定について (可決)

都市計画法第16条第2項の規定による地区計画等の案の作成に関する手続きについて、必要な事項を定めるものです。

◇議案第5号

あさひパークゴルフ場の設置及び管理に関する条例の制定について (可決)

「あさひパークゴルフ場」を設置するにあたり、地方自治法第244条の2第1項の規定により条例を制定するものです。

◇議案第6号

旭市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

千葉県人事委員会勧告の趣旨に基づき、職員の給与改定を行うものです。

◇議案第7号

旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

◇議案第8号

旭市立公園条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

旭市立公園として「あさひ健康パーク」を設置するため、所要の改正を行うものです。

◇議案第9号

旭市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

合併後、新たに策定した「旭市地域防災計画」との整合性を図るため、所要の改正を行うものです。

◇議案第10号

旭市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について (可決)

建築基準法施行令等の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、所要の改正を行うものです。

市道の認定等

◇議案第11号

市道路線の認定、廃止及び変更について (可決)

旭中央病院アクセス道「南北線」に係る路線を決定するにあたり、路線の一部を廃止及び変更し、新たに路線を認定するものです。

人事

◇議案第12号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて (同意)

現委員のうち1名が平成20年3月31日



工事が着々と進むあさひパークゴルフ場

をもって任期満了となるため、後任の委員候補者を法務大臣に推薦するにあたり、議会の意見を求めるものです。

次の方が全員賛成で同意されました。

宮内昭治氏（再任）

萩園1192番地5

工事請負契約

◇議案第13号

工事請負契約の締結について（可決）

旭市立第二中学校校舎改築工事について一般競争入札を執行したところ、落札者がありませんでした。よって、地方自治法施行令第167条の2第1項第8号の規定により、随意契約による仮契約を締結しましたので、この契約について議会の議決を求めるものです。

- ・ 契約金額 10億1535万円
- ・ 契約方法 随意契約
- ・ 契約の相手方 竹中・阿部特定建設工事共同企業体

委員会提出議案

◆発議第1号

日豪EPA／FTA交渉に対する意見書の提出について（可決）

◆発議第2号

中期計画の策定、道路特定財源諸税の暫定税率延長等に関する意見書の提出について（可決）



完成間近な二中体育館

陳情の審査結果

第4回定例会では、陳情5件の審査が行われました。審査の結果は次のとおりです。

区 分	件 名	審査結果
陳情第3号	稲作農家に勤労者並みの労賃と再生産を確保するため「2万円米価」を保障する制度確立を求める陳情	不採択
陳情第4号	日豪EPA／FTA交渉に対する陳情	採 択
陳情第5号	保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情	不採択
陳情第6号	介護療養病床廃止・医療療養病床削減計画中止を求める意見書提出を求める陳情	不採択
陳情第7号	高齢者が安心して医療を受けられるよう国への意見書提出を求める陳情	不採択

主な議案質疑

議案第1号

Q コミュニティバスのルートはどのような変更がなされたか。市民に対しての周知方法についての考えを伺いたい。

A 旭地区は現在の運行ルートと変わりありません。飯岡地区は2便減らし、駅から旭中央病院へ行くバスは時刻を調整した。海上地区は病院へのバスということ、旧干潟の萬歳農協から海上の県道小見川海上線と銚子海上線走り旭中央病院まで行っていたが、それらを見直して台地を走る便を増やした。干潟地区は香取市との共同運行の廃止に伴い、旭中央病院まで萬歳から中和、古城を通って、干潟駅と旭中央病院を結ぶルート設定をした。なお、干潟地区については初めてのルート設定ということで国庫補助を活用しながら試行運行したい。周知方法は干潟、海上地区が大幅に変わるので広報、世帯全員への時刻表の配布をしたい。

Q 下宿ふれあい公園整備事業についてなぜ補正予算を組んだのか。整備の内容等について伺いたい。

A 新市建設計画、総合計画の5か年の前期計画により、市内の公園整備の均等を図るために、前倒しで計画をした。補正の理由は有利な県補助金を活用

するため設計等の委託料を予算化して申請に必要な事業区域の測量と設計をした。計画の内容は約9500㎡で、主な施設は多目的広場、芝生広場、トイレ、駐車場で平成20年から21年度までの2か年で整備する予定です。

これからの公園整備については、旧干潟町、旧海上町から引き継いだ公園の整備計画を平成22年度を目途に有利な補助金等を利用して順次、財政状況等を見ながら計画的に整備していきたい。

Q 長熊スポーツ公園は、どのように整備するのか。

A 平成18年、19年度と地元関係団体、利用団体と協議・検討を重ねて、ある程度調整も整ったので、来年度に工事を実施するための実施設計を今回お願いするものです。



長熊スポーツ公園内にある釣堀センター

Q 農業振興事務費の黄化葉巻
病の防疫対策について伺
いたい。

A 黄化葉巻病は本年3月に市
内でこの病気が確認をされ
ています。特に飯岡地区のトマト
の栽培農業者は指導により0・4
ミリの防虫ネット等を張り、農家
の方が積極的に対応されて今は発
病が少ないことが確認されている。
ただ、管内約132町歩のトマト
が栽培されているので、農業者へ
の指導や家庭菜園をしている方
にも協力をいただいて、市内全域で
病気を撲滅したい。

議案第4号

Q 今回の条例の改正により、今後、
どのような形で地区計画等の内容
が進められるのか。

A 小さな区域を設定して、住民の意
見に基づいたまちづくりを行って
いこうというのがこの制度で、従来地区
計画は行政主導型だったのを住民主導型
にするということになった。

議案第5号

Q パークゴルフ場の管理運営につ
いて市長はどのように考えているの
か。

A パークゴルフ場は、隣接する健康
福祉センターと一体化をして、市

第4回定例会の日程

(開会)

12月5日(水)

- ・会議録署名議員の指名
- ・会期の決定
- ・議案の上げ
- ・提案理由の説明並びに政務報告
- ・議案の補足説明

12月7日(金)

- ・議案の質疑
- ・常任委員会へ議案・陳情を付託

12月10日(月)

- ・市政に関する一般質問

◇追加日程

- ・議案の上げ
- ・提案理由の説明
- ・議案の補足説明
- ・議案の質疑
- ・常任委員会へ議案を付託

12月14日(金)

- ・建設経済常任委員会

12月17日(月)

- ・文教福祉常任委員会

12月18日(火)

- ・総務常任委員会

12月20日(木)

- ・常任委員長の議案・陳情報告
〈質疑・討論・採決〉

・事務報告

◇追加日程

- ・発議案の上げ
- ・提案理由の説明〈質疑・討論・採決〉
- ・議長辞職に伴う選挙
- ・副議長辞職に伴う選挙

(閉会)

議案第7号

Q 料金統一を図った根拠・経過を説
明していただきたい。

A 各施設間の格差を生じないように不
公平感をなくすために見直した。
基本的には現行料金を基準に施設の状況
等によりある程度差を設け他の市町村等
も参考に設定した。

議案第9号

Q 新防災計画についてどのような状
況なのか。

A

市の地域防災計画は災害対策基本
法第42条に基づいて市の防災会議
が作成するもので、平成17年に素案を作
成し、平成18年に防災会議で素案を検討
して広域的な連携を図るため県と事前協
議を行い、今年度地域防災計画として
決定した。成果品は2月ごろ届く予定で
すがホームページ等で市民の皆様には要旨
の公表をしたいと考えています。

議案第13号

Q 入札を2回行い落札しなかったと
説明されたが、その原因はどこに
あるのか。

A なぜ落札しなかったか、その原因に
ついては分かりませんが、設計も
多少厳しいといいますが、近年の石油、
資材の高騰、そういったものがあつたの
かなとは考えています。

一般質問の 質問事項

発言議員と質問事項を紹介いた
します。

◆木内欽市議員

- 1、排水対策について
- 2、公園の整備について
- 3、旭中央病院の安全対策について

◆滑川公英議員

- 1、地域間格差の著しい生活道路の整備
について

- 2、土木工事で発生する副産物について

- 3、産業政策について

- 4、入札改革のその後について

◆高橋利彦議員

- 1、効率的な行財政運営について
- 2、旭中央病院のアクセス道路について
- 3、旭中央病院問題について
- 4、コミュニティバスについて

◆伊藤房代議員

- 1、総合消防情報システムの導入につい
て

- 2、駅のバリアフリーについて

- 3、かんぼの宿の1日開放について

- 4、老人福祉施設の新設について

◆伊藤保議員

- 1、旧海上中学校校舎解体について
- 2、旭中央病院について
- 3、循環型社会形成について

【第4回定例会】

一般質問

市政に関する一般質問は12月10日に行われ、5人の議員が登壇しました。
主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。

防犯対策は

中央病院

Q 病院の安全対策、防犯対策、関連して犯罪の抑止力、検挙率の非常に高い防犯カメラの設置は。

A 現状の防犯対策としては、防犯カメラを設置しています。夜間開放している4か所の主要な出入口と2号館の待合ホールへ防犯カメラを設置しており、5か所の12台を設置しています。主要な出入口以外は夜間の施錠をしています。

警備員2名と整備課の当直者により、巡視を行っており、不審者を発見したときは旭警察署に通報する手順の徹底を図っています。

再整備事業実施設計の入札方法は

Q 再整備事業の実施設計の入札方法は。



中央玄関に設置されている防犯カメラ

A 平成16年にプロポーザル方式(技術提案方式)で選んでいます。設計者の当該設計対象に対する考え方、問題の解決方法、設計実績といったものを提案してもらい、その内容によって設計者を決めるというやり方です。これまで担当してきた当該設計事務所は、何度となく院内の各科とヒアリング等の協議を重ねてきています。したがって、その業者が当院の役割、性格、規模、診療体制などを熟知しています。プロポーザル方

式で業者選定をしたところは、以後、基本設計、実施設計とも随意契約で締結をしている状況です。

以上のことから、平成19年11月16日に横河建築設計事務所と業務委託契約を締結しています。

国・県の補助は

Q 国・県の補助金等の今後の見通しは。

A 県知事には、10月16日に当院の地域における役割や再整備事業を説明し、これに対する補助要望をしたところです。知事には当院の役割を高く評価をしていただき、『県立病院と同じように思っていますので、県財政も厳しい折ですが、できる限り助成をしていきたい』とお答えをいただいています。

新館建設中の問題点は

Q 新館建設中の問題点は。

A 交通渋滞が考えられます。工事用車両は東側進入路と北側進入路を予定していますが、北側進入路については、土曜と日曜、早朝以外は使用せず、これまでどおり患者用の通路として確保したいと思います。また、駐車場の不足が考えられます。現在のヘリポートの南側を新たに賃借して駐車場に造成することで対応いたします。

市の責任は

Q 市は公営企業にどのような責任を果たさなければならないのか。

A 平成17年6月以前は一部事務組合の開設、平成17年7月から市が設置する地方公営企業となっています。会計については、一般会計から切り離れた公営企業会計で、独立採算が旨とされています。現状では従来から地方交付税に算入された額のみを繰出金として出しており、このルール以外の市の補てんは考えていません。

経営状況は

Q 直近の収支状況から見た経営の見通しは。

A 現在の収支状況は10月までの累計で1億600万円の黒字となっています。さらに事業の効率化を図ることにより利益の確保に努めてまいりたいと考えています。

診療報酬額は230億円

Q 診療報酬は、旭中央病院の場合、1年でのどのくらいあるのか。

A 平成18年度の当院における診療報酬請求額は、国民健康保険、社会保険等で約230億円になります。

医療連携への取り組みは

Q 東総地域の医療連携は、どのように進められているのか。

A 匝瑳市民病院との連携に向けた協議を始めることが決まっています。

現在は、老朽化した施設や職員の取扱い、赤字、財政などの問題を両方の市・病院で事務的に協議をしている段階です。

医師の派遣については、現在、2つの県立病院を含む周辺14の病院に対して医師を派遣しています。常勤としては匝瑳市民病院と銚子市立病院に各2名、非常勤としては14施設に対して、1回行けば1人と数えて延べにして月103人の医師を派遣しています。

医師派遣の意義は

Q なぜ、他の病院の面倒を見なくてはならないのか。

A 道義的な観点があると思います。周辺の病院が倒れてしまうと、当然旭中央病院も困るわけです。そんなことから、できる限りの範囲で派遣をしているというのが実情です。

急性期リハビリ病院として

Q 回復期リハビリとは、普通のリハビリとどう違うのか。

A リハビリテーションの中には、病気が発症してから1週間以内の超

急性期、急性期、回復期、慢性期に分かれる。病院でやっているリハビリは、今、急性期リハビリですので、1か月以内を目途ということになっています。回復期リハビリというのは、1か月から3か月です。

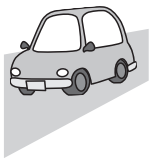
アクセス道路の進捗状況は

道 路

Q 旭中央病院のアクセス道路の進捗状況は。

A 東西線A、旭中央病院から川島齒科医院までですが、道路の詳細設計はすべて終了しました。用地交渉の対象者は34名で、契約済みが17名です。物件補償対象者6名と交渉中です。ヘリポート西側、水路の付け替え工事を約110mですが、工事が始まったばかりです。東西線B、飯岡バイパスとの交差点の工事は済んでいます。今月発注予定で、川島齒科医院北側の交差点工事を行うことになっています。

南北線は、道路詳細設計を今実施中です。旭中央病院から国道126号線まで、距離は650mで、JRの跨線橋を250m予定しています。用地交渉対象者29名とは交渉中です。物件補償対象者は9名で交渉中です。



アクセス道路南北線、国道交差点予定地付近

平成22年度完成へ

Q 今後の予定は。

A 東西線Aは、平成20年度買収終了、工事は、平成21年度竣工を目指します。

東西線Bは、用地買収は済んでいます。工事は、同じく平成21年度竣工を目指します。

南北線は、用地買収、物件補償を含めて、平成21年度の早い時期に完了、工事は、病院から県道銚子旭線までは平成21年度、県道銚子旭線からさらに国道までは、平成22年度完成を目指します。

排水整備要望は118か所

Q 市内の排水整備の計画は。

A 区長から118か所の要望があります。その要望のうち、本当に深刻だと思われるところ、地域排水をポンプアップしているところ、また、大雨のたびに普通車が通行できなくなる場所を優先して整備したいと考えています。

行政改革推進本部の役割は

行政改革

Q 旭市行政改革推進本部の役割は。

A 時間外勤務の縮減、定員の適正化計画の推進や行政改革のアクションプランの進捗状況といったものについて協議をし、旭市行政改革推進委員会にいろいろご意見を伺ったり、本部の方で検討したものを出し、経過を説明し、その後の行政改革に資することとしています。

指定管理者制度の財政メリットは

Q 干潟保育所の指定管理者制度による財政メリットは。

A 干潟保育所の運営費は、平成18年度決算で約8600万円を要しているところ。指定管理者制度を導入

することにより、既存の特別保育事業のほかに新たに土曜日の1日保育や病後児保育事業、これら特別事業の実施による保育サービスの拡充を行ったとしても、1000万円強の経費の節減が図れると考えているところです。

指定管理者制度、民間委託の実績を見極めることと併せて、職員採用についても、必要最小限に抑えながら効率的な行政運営に努めてまいりたいと思います。

なぜ、保育士を採用するのか

Q アクションプランでは将来は皆、民営化するという中で、なぜ今年、保育士の新採用をとるのか。

A 保育士の年齢構成を見ると、45歳以上の職員が3分の2以上を占めている状況があります。全体の退職で調整する部分はもちろんのことですが、ある程度主要な部分というのは正規職員が担任等で当たっていく形になり、責任ある保育を展開する意味では必要な部分ですので、今回、2名の採用を予定しているところです。

入札改革による効果は

Q 入札改革のその後について。

A 一般競争入札の額を7月から3億円だったものを1億円に引き下げ

ました。10月からダイレクト入札を実施して効果が表れています。130万円から1億円の間をダイレクト入札というところで、10月から7000万円程度の工事を実施しました。今後しばらくの間は実施したいと考えています。

循環型社会への取り組みは

環境

Q 循環型社会形成について、旭市では何を取り組んでいるのか。

A 家庭から出る一般廃棄物としてのごみは、再資源化を図るため利用できる資源ごみを適正に分別収集、再生してリサイクルをしています。

また、ごみの減量化も循環型社会形成にとって大変重要なことから、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再資源化（リサイクル）を法律でも決められていますし、そのような形で進めていきたいと考えています。

廃棄物の処分は

Q 旧海上中学校校舎の解体された廃棄物は、どのような処分をされているのか。

A 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の定めにより適正に処理されます。また、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、いわゆるリサイクル法に基づき、特定建設資材廃棄物は、その場でコンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルトコンクリートに分別し、各処分場に運搬し処理いたします。



旧海上中学校校舎解体工事の様子

土地改良事業の進捗状況は

土地改良

Q 土地改良事業万力Ⅱ期地区の概要と進捗状況、これから同意率の向上を目指している飯岡西部地区の進捗状況とその内容は。

A 万力Ⅱ期地区については、事業実施面積が96ヘクタールで、平成19年3月に国の採択を受けて、県営事業として着手されています。本年度は換地作業、来年から面工事を行い、平成24年に完了する予定です。

飯岡西部地区については、現在、国の採択をすべく地域で推進委員がいろいろと努力いただいております。平成21年に国のヒアリング等を受けて、できれば平成23年に事業に着手したいということで現在進んでいます。

待合室の設置は

コミュニティバス

Q バス停留所に簡単な待合室が必要ではないか。

A コミュニティバスの待合室ですが、実際に待合室を設置してあるところはありません。干潟地区、このルートにおいてベンチが設置されている。これは干潟町時代に設置したものと聞いています。これが7か所あります。

バス停留所の標識が置いてあるところはほとんど道路の路肩で、待合室を設置するのは非常に厳しい状況です。



年金で入所できる老人福祉施設建設の考えは

Q 老人福祉施設の施設について、年金の給付金だけで入所できるような施設を新設することはできないか。

A 老人ホームというのは、それぞれの目的や状況等に応じて施設が現制度で何種類かあります。年金収入が低いということだけで入所できる施設はありませんし、それを市単独でつくっていくというようなことは残念ながら考えていません。

今後の整備予定は

公園

Q 市内にある公園の今後の整備はどのように行う予定か。

A 新たに整備する下宿ふれあい公園は、飯岡地区三川地先の矢刺神社周辺を整備するものです。整備には、県の収用委員会の事業認定を必要とします。子どもから大人までの広い年代での交流ができる公園として整備します。また、万が一の災害時には避難場所として使える防災公園としても整備してまいります。長熊スポーツ公園については、本年度は公園施設全体、釣り堀、野球場、ゲートボール場を含めた基本調査を実施するとともに、地元関係団体と協議しながら

具体的な整備方針を策定しているところ
です。

位置情報システムの導入は

防災

Q 携帯・IP電話位置情報システムの導入の予定は。

A 携帯とIP電話の位置情報通知システムの運用については、この4月1日から開始されました。この効能についても、消防隊、救急隊、救助隊の迅速なる出場ということで、一番の決め手は、覚知時点で災害情報をいかに的確に早く聞き取るかということにあります。そういうことから、位置情報の通知シス



現在の消防緊急通信指令施設

委員会の構成が変わりました

平成20年1月17日付けで、新たな委員会委員が選任されましたのでご紹介いたします。

委員会名	人数	委員長	副委員長	委員		
議会運営委員会	8	向後 和夫	嶋田 茂樹	神子 功	林 正一郎	日下 昭治
				佐久間茂樹	柴田 徹也	嶋田 哲純
総務常任委員会	6	佐久間茂樹	島田 和雄	林 正一郎	高橋 利彦	明智 忠直
				伊藤 房代		
文教福祉常任委員会	6	柴田 徹也	景山岩三郎	神子 功	林 一雄	向後 悦世
				伊藤 保		
建設経済常任委員会	6	嶋田 哲純	滑川 公英	嶋田 茂樹	平野 浩	林 七巳
				平野 忠作		
公営企業常任委員会	7	日下 昭治	木内 欽市	林 一哉	伊藤 鐵	向後 和夫
				高木 武雄	林 俊介	
議会だより編集委員会	5	林 七巳	伊藤 房代	木内 欽市	嶋田 哲純	伊藤 保

任期：2年（平成20年1月17日～平成21年12月31日）

テムは確かに有効だとは思いますが、これには相当の経費がかかります。
平成13年3月末に今の指令台に更新しましたが、経費等の関係から、また千葉県の消防は31消防本部ありますが、これ

を二つに分けて消防無線の広域共同運用を開始するという構想が持ち上がり、その計画が決定しています。この4年間ぐらいでそれが現実化しますので、導入は見送っています。

常任委員会の審査

建設経済常任委員会

12月14日(金)午前10時より本委員会が開催され、付託された6議案及び陳情2件の審査を行いました。

議案第1号平成19年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「長熊スポーツ公園整備事業について、浮き棧橋の老朽化等いくつかの問題点を調査して、その内容は基本設計に含まれていると思うが、どんな内容か。また、観光施設という位置づけをもって、どのような意見を集約して設計に反映させたのか。」との質疑では、「施設については、20年経った中で、かなり老朽化して非常に管理がしづらい部分がある。浮き棧橋は、耐用年数が過ぎている部分もあり、毎年改修しなければならない状況から整備するに至ったものである。また、釣堀や野球場、ゲートボール場もあることから、利用団体や地元の関係団体等から意見をいただきコンサルタントと協議して決めたものであり、特に観光施設として観光協会には相談はしていない。」との答弁がありました。また、「下宿ふれあい公園整備事業について、どういう位置づけで整備をしようと考えているのか。また、今後の公園整備はどのようにしていくのか。」との質疑では、「下宿ふれあい公園は、

地元の方々の意向を反映されたかたちで新市建設計画に載り、新たな総合計画の中の5か年計画の中に位置づけられた公園である。今後の公園整備については、計画に載せてある公園がほかにたくさんあり、財政状況や社会状況等を見ながら整備を進めていきたいと考えている。」との答弁がありました。

その他質疑を尽くし慎重審査の結果、議案第1号については全員賛成なしで否決とし、そのほかの5議案については全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、陳情第3号の稲作農家に勤労者並みの労賃と再生産を確保するため「二万円米価」を保障する制度確立を求める陳情についての審査では、「陳情の趣旨は理解すべきところもあるが、米1俵あたり2万円が一般労働者との最低賃金との位置づけから妥当なのかどうか。」との意見が出され、全員賛成で不採択とし、陳情第4号日豪EPA\FTA交渉に対する陳情は、全員賛成で採択と決しました。

委員会の審査終了後、長熊スポーツ公園と下宿ふれあい公園建設予定地を視察しました。

文教福祉常任委員会

12月17日(月)午前10時より本委員会が開

催され、付託された4議案及び陳情3件の審査を行いました。

議案第7号旭市使用料及び手数料に関する条例の一部を改正する条例の制定についての審査では、「飯岡体育館の使用料は5割近い値上げになるが、どういう根拠で算定されたのか。」との質疑では、「今回の改正は、設置年度、施設規模、設備状況等を勘案して、格差を生じないようにし、維持管理費等も勘案して算定したものである。」との答弁がありました。

議案第13号工事請負契約の締結についての審査では、「一般競争入札を1億円以上として取り組んだが、99・73パーセントという高落札率につながった原因は何か。また、生徒に対する配慮はどうなっているのか。」との質疑では、「2回の入札で予定価格に達しなかった場合、地方自治法の規定により最低価格の方と随意契約の交渉ができることとなっております。

交渉の結果、予定価格に達したことから随意契約をしたものであるが、高くなつた原因については分からない。また、学童に対する工事期間中の危険防止等については、工事車両等の出入りや、それ以外の事故等が発生しないよう最善の努力をする考えである。」との答弁がありました。

その他質疑を尽くし慎重審査の結果、議案第1号及び議案第2号については全員賛成で、議案第7号及び議案第13号については賛成多数で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

続いて、陳情第5号の保険でよりよい歯科医療の実現を求める意見書採択を求める陳情についての審査では、「保険でより快適で、よりきれいな歯が提供されることは良いことだが、現実的には厳しいのではないか。」との意見が出され、他の2陳情についても慎重に審査した結果、3陳情とも全員賛成で不採択と決しました。

委員会の審査終了後、中央小、矢指小、豊畑小、第一中の施設の状況等を視察しました。

総務常任委員会

12月18日(火)午前10時より本委員会が開催され、付託された4議案の審査を行いました。

議案第1号平成19年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項についての審査では、「コミュニ



豊畑小学校音楽教室を視察する
文教福祉常任委員



消防署において、消防車搭載装備の説明を受ける総務常任委員

定ができるかどうか検討したい。」との答弁がありました。

その他質疑を尽くし慎重審査の結果、4議案とも全員賛成で原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員会の審査終了後、消防本部及び各分署の施設、装備の状況等を視察しました。

行政視察報告

議会運営委員会

10月30日から11月1日に渡り、岩手県奥州市、宮古市及び先進的な公社を運営する葛巻町を行政視察してきました。

1日目の奥州市では議会運営状況の説明を受けました。そのなかで予算決算の審査は特別委員会を設置し、議長を除く全員で構成をしていることや市政調査会を設置して議長を除く全員で構成していること。また、毎月定例日に一部事務組合、各種委員会等に出席した内容の報告を行っており、副議長が中心でやられているということが旭市と違った点を確認できました。

2日目の宮古市の視察は議会運営全般について議論した。特に予算決算について特別委員会を開催し、予算は4日、決算は3日間で、審査は10時から一問一答方式によって20分の持ち時間で質疑をしているということも確認できました。

公営企業常任委員会委員協議会

本委員会への付託案件がないことで、12月13日(木)午後1時30分より委員協議会が開催されました。所管事項の報告を受けた後、飯岡荘の改修工事現場を視察しました。

3日目は葛巻町の畜産開発公社を視察しました。この町は森林と牛の町で、人口が8600人で牛が1万1000頭おり、人より牛が多い町です。当公社は主に町内及び関東方面から仔牛を預かり、

振牛で返す事業などを行っています。昭和51年に第3セクターを設立してから30年を経過したが、失敗をおそれずに目



奥州市議場にて(議会運営委員会)

総務常任委員会

標に向かって地道にやってきたことが、負債のない安定した経営状況となつていると感じました。

現在は、売店宿泊施設などを取り入れ、バイオマスガス化発電施設など関連11の事業を実施し、報道機関を利用して宣伝したことで、葛巻町が盛岡市の隣町として知られるようになり、牧場祭りなどの行事には多くの人達が参加するようになったそうです。

今回の視察研修を通して、首長の立場、議会としての立場、市民の位置付け、それぞれ考えさせられた3日間でした。

10月3日から5日の3日間に渡り、北海道釧路市、釧路市広域連合と網走市の行政視察を行いました。

釧路市は過去15年間に、震度5以上の災害に3度も見舞われ、人的被害800人、被害額300億円余りと甚大な被害となった。今後地震発生率の確率が極めて高く想定されることから、地域防災計画を策定し、市民防災センターの開設など、市民の日頃からの防災に対する啓発を重視して災害に備えており、津波ハザードマップや防災無線での市民の災害に対する意識の高揚を図ってありました。

今回の重点課題でもありました釧路市広域連合清掃工場は、収容処理能力は日量240トン(120トンの炉が2基)。建設規模は地上5階地下1階、延べ床面積1万3600㎡。建設費は税抜きで45



釧路市役所前にて(総務常任委員会)

億円。平成10年に10市町村でごみ処理協議会を設立し、合併により4市町村になり清掃工場が平成18年4月1日に稼働しました。施設の特徴は、発生熱を利用したの蒸気タービンによる発電と施設の電気を賄い、余った電気は売電して、年間6800万円の収入となっています。また、鉄やアルミは金属資源として、灰分は溶融し土木資材として両方あわせて年間850万円の収入を得ております。建設は公共で行い、運営は民営となっており、公共の運営と比較して大幅なコストダウンが図られ、今後の旭市のごみ処理計画の参考となりました。

網走市では、環境問題などに対する取り組みとして、平成17年度に住宅用太陽光発電システム導入費補助制度が創設されました。地球環境問題により環境負荷のない、新エネルギーの開発促進は必要であり、旭市も施策として検討する分野と思われます。

また、中心市街地借上公営住宅建設事業は、民間の土地所有者等が建設費の一部について補助を受けて住宅を新築し、市が20年間公営住宅として借り上げて供給する制度です。入居者の募集や家賃の徴収事務などを市が行い、建設場所は、中心市街地に限定し建設は3階以上とし、店舗やその他の併設が義務付けられております。定住人口の確保や土地の有効活用が図られ地域活性化につながり、有効な人口施策だと考えられます。

建設経済常任委員会

11月14日から16日の3日間に渡り、沖縄県の南風原町、糸満市、中城村を行政視察しました。

南風原町では、那覇市・南風原町環境施設組合のクリーンセンターを視察しました。平成7年6月に那覇市がごみ焼却炉建設プロジェクトチームを設立し、第1回住民説明会を平成10年6月にスタート。市長による周辺住民への説明会は100回を数えた。十分に施設の安全性、必要性、地元住民への還元施設の建設等について話し合いが行われ、住民理解のもとに建設が決定し、平成18年4月に竣工しました。施設建設は、住民との十分なコミュニケーションが一番重要で、旭市のごみ焼却場問題については、その辺が一番欠けていたのではないかと思います。

糸満市では、糸満観光農園を視察しました。第3セクターで総事業費は40億円、

総面積は28ヘクタールで平成17年一部開業。現在は約半分を利用しており、ハウスでアセロラ、パッションフルーツ等を栽培し、それらを原料に、ワインの製造、販売をしています。また熱帯植物園、パークゴルフ場、レストラン等があります。パークゴルフ場は、沖縄県内にある14施設の中で一番人気があるそうです。地盤が石灰石なので、旭市のコースより見劣りはしますが、当日は大勢の人がプレーを楽しんでいました。40億円の投資に見合うメリットはあるのだろうかという思いと、今後の市の財政に大きな負担になってくるのではないかと感じました。

旭市と友好交流市村である中城村では、吉の浦火力発電所建設現場を視察しました。平成13年に地質調査が始まり、住民説明会を経て平成18年着工。運転開始予定は、1号機が平成22年、2号機が平成



那覇・南風原クリーンセンターの説明を受ける建設経済常任委員

23年、3号機が平成28年、4号機が平成32年とのことです。今までの石炭及び石油と違い、環境に配慮した液化天然ガス、LNGを使用し、総発電量は4基で100万kWになります。電源三法による交付金として、中城村に促進対策費8億2800万円が、そして1号機の発電が開始されると毎年5000万円ずつ、23年間にわたり交付され、中城村の財政に非常にメリットのある誘致ではないかと思えます。

今回の視察では、様々な施設建設にあたって、住民との十分なるコミュニケーションと民の力を利用することがいかに重要かということが改めて感じられました。

公営企業常任委員会

7月17日から19日の3日間に渡り、中央病院の建設を前提に自治体病院で、同規模の最近改築した福井、岐阜県の病院を行政視察しました。

1日目の福井県立病院は昭和25年にベッド数100床で開設。現在は診療科目20科、ベッド数1000床、外来患者1日1300名、医師90名を含めた職員は850名の病院です。経営内容は減価償却前で4億の黒字、しかし毎年、最終的には20億から30億の赤字病院でした。病院の建設にあたっては平成6年に検討委員会を立ち上げ、平成9年に再整備の基本計画を策定して基本設計は8社からの提案型方式をとり、東大教授など各層から

の選考委員により決定した。総事業費467億円。内訳として起債412億円、国補助12億円、繰入金等38億円で、平成11年から21年まで3期に分けて行い、本館の工事費は264億円。地上13階地下2階、床面積は6万4000㎡です。本館は平成15年に完成して現在稼働しています。病院の特徴は女性専用外来を設けてあり、また、ヘリポートが屋上にあり、救急センターまで直通エレベーターが設けられていました。

2日目の岐阜県総合医療センターは昭和28年にベッド数130床で開設。現在は診療科目28科、ベッド数600床、外来1日1300人、医者100名を含めた職員は730人、診療圏人口80万人の病院です。病院の収入は130億円、毎年10億円の利益があり、余剰金も80億円

議会のうごき

平成19年9月4日以降の議会のうごき

〈9月〉

- ・宝くじまちの音楽会サーカスとともに
- ・旭市民グラウンドゴルフ大会
- ・平成19年度旭市敬老大会
- ・あさひのまつり

〈10月〉

- ・東総地区広域市町村圏事務組合議会9月定例会
- ・平成19年度千葉県北総東部四市議会正副議長会定例会
- ・第69回全国都市問題会議
- ・旭市戦没者追悼式

となつています。再整備事業の総事業費は272億円で平成12年度に基本設計、完成は平成21年の予定です。本館の改築は地上10階地下1階、床面積43000㎡。工事は平成16年に始まり、18年末に建物、医療機器を含めて、215億円で完成し、現在稼働している。本館に関する資金調達は一般会計18億円、積立金の取り崩し52億円、国からの補助金30億円、起債が157億円となっています。病院の特徴は屋上ヘリポートや太陽光発電、スタッフ用エレベーター、電子カルテと連動した手術機材供給、回収システムなど先進的な機能が配備されていた。



岐阜県総合医療センターの説明を受ける公営企業常任委員

- ・第3回旭市民チャリティーゴルフ大会
- ・いきいき旭・産業まつり2007
- ・第166回千葉県市議会議長会定例総会
- ・旭市社会福祉協議会おたっしや会
- ・創立60周年記念第59回千葉県民体育大会総会

〈11月〉

- ・木更津市制65周年記念式典
- ・平成19年度旭市合同金婚式
- ・自治体病院全国大会2007「地域医療再生フォーラム」
- ・平成19年旭市消防団員の家族に対する感謝の集い
- ・旭市ふるさとまつり・ひかた2007

- ・第3回旭市社会福祉大会
- ・平成19年度東総地区グラウンドゴルフ親善大会
- ・第33回全日本教育工学研究協議会全国大会(千葉県旭市大会)開会セレモニー
- ・平成19年度旭市青少年意見発表大会
- ・首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議「第17回県民大会」
- ・受賞者を称える会
- ・旭市都市計画審議会
- ・海上産業まつりふるさとふれあいフェスティバル
- ・平成19年度千葉県北総東部四市議会正副議長会研修会

編集後記

私たち議会だより編集委員は、新市合併後の平成18年6月の創刊号発行からの第8号をもちまして任期を終了いたします。

この間、私たちが編集いたしました「議会だより」は市民の皆様に十分満足いただけましたでしょうか。

編集会議では、定例議会の議案審査や一般質問の内容を中心に市民の皆様に見やすいレイアウト、読みやすい文章であることなどを心がけて編集に取り組んできました。

また、この間、取材等にご協力いただきました皆様方に厚くお礼を申し上げます。

議会だより編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 佐久間 茂樹 |
| 副委員長 | 景山 岩三郎 |
| 委員 | 平野 浩 |
| 委員 | 伊藤 房代 |
| 委員 | 平野 忠作 |

議会を傍聴しましょう

平成20年第1回定例会は2月29日(金)から行われます。

詳しくは議会事務局へ

☎ 62-5304
FAX 62-5384